



平成18(2006)年12月22日(金)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹  
http://www.nakayama clinic.jp

## また、今年も過ぎ行きます

小児科医師 中山 真里子

師走に入ってから例年より暖かい日が多く、肌で感じる季節が暦とは大きく異なるせいでしょうか、年末という緊迫感に乏しく、のんびり過ごしているうちにはや、今年も残り少なくなり急に気がせく思いです。

毎年、この時期に抱く思いはどうしても同じようで年をおうごとに一年がますます速く過ぎ、もう今年も終わりだ! ?と悲鳴のような、がっかりしたような、あきらめのような、大げさに言えば敗北感?に似たようなものまでがごっちゃまぜになった複雑な思いがこみ上げてきます。

皆様にとって今年はどうな年でしたか。

スポーツ界には明るい話題が多く、ほっとします。トリノ五輪での華やかなる演技、今年の流行語にもなった“イナバウア”、最後まで諦めない素晴らしさを教えてくれたWBC、夢の大リーガー松阪投手の誕生など思い出されますが、一方、今年の漢字「命」が象徴しているように暗いニュースもたくさん思い出されます。心痛む事件・事故の数々、“地球より重い”といわれる人の命が余りに軽んじられているようです。NHK朝ドラの「芋たこなんきん」で耳にした“命は神様からの借りもの”という言葉、期間期日は自らは決められない、勝手に“お返しします”ということのできない人の命、確かにそうだろうなあと思いながら聞いておりました。でも、理不尽に突然、神様から返せと言われてたら困りますね。いつ返せと言われても“ハイ、もう十分に使わせて頂きましたから(こういう言葉が適切なのでしょうか、?)喜んでお返しします。”という思いになれる生き方を心がければよいのですが、凡人にはなかなかそうもいきません。

私がそんな生き方をしたら天地がひっくり返りそうで

### 《あとがき》

#### 1, 滋賀県守山市の 森 美和子さん から

クリニックの皆さん、お元気ですか。早いもので息子も一歳4ヶ月を過ぎました。お世話になったクリニックに早く息子を連れて行きたかったのですが、長旅になるのでつい行けずじまい。スマイルタイムズのNo127号(10月26日発行)の「新生児の輝き…」(中山真里子Dr.)を読ませてもらって原点を思い出させてもらいました。息子がなかなか歩き出さないの

す。どうみてもその時には、残念ながら慌てふためき“往生際が悪い”ということになりそうです。だからせめて、いつ“返せ”と言われてもいいようにそのことはいつも頭の隅に置いておきたいものだと思いますが…。

そんなことを考えながらも、我が家もお蔭様で今年も大きな変化もなく無事、一年を終え、新しい年を迎えられそうです。平凡に日々過ごせることはありがたいことと思っています。

来年も皆様にとってよい年となりますように、そして、明るい話題の多い年となりますように念願しつつ。

### 今が一番 看護師 仲野 洋子

今年も残り少なくなり、しだいに小浜の町も年末ムード一杯になってきました。“一年って早いなあ、もう12月。この間お正月やったのに!”とこの時期になると決まり文句のように言っている気がして、このまま歳を重ねていだけなのかと、周りの成長はうれしい反面、気になったりします。

今年のお正月に、高校卒業20年目の盛大な同窓会がありました。どんな風に変わっているのか楽しみと不安でいっぱいでした。皆、見かけは……も(それは仕方ないか)、誰もが同じように、何らか忙しい日々を過ごしててなかなか自分の時間が持てないようでした。昔の無邪気な学生がスーパー主婦に変身している姿に笑えました。でもまた、これからだんだん自分の時間も持てるようになってから、ゆっくりと余裕のある同窓会がしたいものです。そう思えるのも今があるからこそだなあ“今がいちばん”と思って毎日過ごそうとその時(今年の正月)思いました。がなんとなく忘れてしまっていて、この原稿を書こうとして思い出しました。

やっぱり何年か先じゃなくて毎年同窓会があればフレッシュな気分になれるのに。“今がいちばん”いつも思えるように、“最悪…!”という口癖も直したいものです。

あせったり人と比べたりしていたのです。やっと最近散歩に出られるようになりました。でもそうならなつたで又次々と悩みが沸いてきます。育児はこういう連続ですけど、時々、原点に戻ることが大事ですよ。また頑張ります。

2, 今号の筆者は2人(真里子Dr. 仲野看護師)ともによく似た年末の感想になっています。多分皆様も同様と推察申し上げます。それではよいお年を。ここに無事本年最後のスマイルタイムズをお届けします。